



2025-26年度 第2650地区スローガン

「未来へつなぐ」

会長	山田 博
副会長	安田 志郎
幹事	木原 常裕
会報・資料委員長	酒本 良司

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第1回(通算3041回)2025年(令和7年)7月1日号

本日の例会(7月1日)

会長・副会長・幹事就任挨拶

次回の例会(7月8日)

委員長活動方針報告(1)

6月24日の例会報告

会長の時間

どうどうこの日を迎えることになりました。肩の荷がちょっと下りたような、すがすがしい気持ちでやってまいりました。後ほど会長退任のご挨拶をさせていただきますので、皆さんどうぞよろしくお願ひいたします。

幹事報告

◎臨時理事会のご報告

1. 出席免除願いの件

定款第10条第5節(a) 中井俊之会員

次年度幹事報告

◎次年度理事会のご案内

本日例会終了後 4階会議室

◎この後の高田地区情報集会及び理事会での承認が下りましたら、新入会員についての情報をご提供いたしますので、ご意見のある方は私までご連絡ください。

◎本日、出席受付でご案内しておりましたが、事務局からの連絡手段につきまして、メールかFAXかいずれがよいか、お返事がまだの方はご記入の程よろしくお願ひいたします。経費の関係上、できればメールのご選択をお願ひいたします。

創業記念日祝

喜多輝昌会員(6月25日)

委員会報告及びその他の報告

○ローターアクト委員会

川中教正会員

本年度に引き続き、来年もローターアクト委員長をさせていただくことになりました。よろしくお願ひいたします。まず、本日19時から今年度ローターアクトクラブ最終例会をヴェルデ辻甚で開催いたします。ご出席の程よろしくお願ひいたします。

7月9日(水)19時半からローターアクトクラブの新年度所信表明例会を開催いたします。会場はJR高田駅の奈良県産業会館です。こちらのご出席もよろしくお願ひいたします。

○高田地区情報集会

西田陽昭会員

本日例会終了後、例会場にて臨時の情報集会を開催させていただきますので、高田地区の皆様お集まりください。

ニコニコ箱

・本日をもって1年の締めくくりとなります。皆様の友情に心から感謝。 池木啓仁会員

・一年間ご協力ありがとうございました。皆様に感謝。 中井謙之会員

・一年間本当にお世話になりました。丸野正徳会員
・会長、副会長、幹事、お疲れさまでした。 中井隆男会員

・池木丸、無事の着岸おめでとう。航海中の「一歩前へ」を十分楽しみましたか？ まずはお疲れさま。 枝村喜芳会員

・池木会長ご苦労さまでした。 山田博会員
・一年間ご協力ありがとうございました。皆様に感謝。 来週からもよろしくお願ひします。 木原常裕会員

・池木会長のもと、三役の皆さん大変お世話になりました。また、お疲れさまでした。 濑田義昭会員

・池木丸の無事着岸を祝って。スタッフの方、ご苦労さまでした。 横根正起会員

・池木丸、一年間お疲れさまでした。酒本将稔会員
・池木会長、中井副会長、丸野幹事、一年間お世話になりました。 上田麻子会員

・一年間ご協力ありがとうございました。 山本忠行会員
・一年間ご協力ありがとうございました。 清水良彦会員 布施隆教會員

4つのテスト【言行はこれに照らしてから】

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

・一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

東辻英郎会員 山田幸雄会員 出川裕一会員
杉垣輝樹会員 平岡雄一郎会員 松村裕玄会員
堀内邦郎会員 杉村喜之会員 當麻泰己会員
・会長、副会長、役員の方々、一年間お務めご苦労さまでした。

村島靖一郎会員 吉村元嗣会員 川中光教会員
吉村定義会員 鈴木勝士会員 黒松 健会員
村井善治会員 脇本吉清会員 吉村忠雄会員
田中康正会員 辻 修会員 世古千代子会員
河村憲一会員 喜多輝昌会員 高橋正典会員
廣橋健次郎会員 安田志郎会員 牧浦 徹会員
高木美香会員 川中教正会員
・池木会長はじめ、役員の皆様方、一年間お疲れさまでした。大変お世話になりました。

竹村恵史会員 甲村侑男会員 船木克容会員
寺田俊彦会員 中堀克己会員 林田光治会員
下村敏博会員 池田定嗣会員 佐藤佳雄会員
吉川利幸会員 吉井英一郎会員 西田陽昭会員
川村英亮会員 吉岡弘修会員 吉川雅章会員
垣本喜己会員 瀧本栄一会員 酒本良司会員
林 輝一会員 倭本和実会員 吉岡寛人会員
志賀正博会員 松村實昭会員

・孫が生まれました。



会長・副会長・幹事退任挨拶

池木啓仁会長

今、清水ニコニコ箱委員長からたくさんの報告を頂戴いたしました。皆さんのご友情に感謝申し上げます。
最後の例会で会長の退任挨拶をさせていただくことを大変光栄に思っております。

本年度は、本日の例会をもちまして、最終例会となります。会員の皆様には、改めてこの1年間、私たち執行部をお支えいただきましたことに対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。

私が年度初めにおいて、一番に達成しなければならないと考えたことの一つは会員の増強がありました。26年ほど前になりますが、私が入会したとき、たしか

117名ほどが在籍されておられたと思います。それからじりじりと減少し、ついに100名の大台を割り、現在90名も切ってしまったのが現状であります。

何とか純増で終わりたい、悪くとも現状維持でありますと願っておりました。そこで、会員勧誘のためのリーフレットを脇本増強委員長にお願いし、作成をしていただきました。

入会は2名を数えましたが、残念ながらお亡くなりになられた方も含めて、5名の退会者がございました。年初より3名の減少となっていました。その点につきましては、私自身の力不足を感じ、大変申し訳なく思っております。

先週も申し上げましたとおり、会員の平均年齢を考えたとき、10年後の当クラブの現状はどのようにになっているのだろうと思うと、大変心配であります。そのためには、40代、50代の若手にぜひ入会していただけるような、より魅力あるクラブになっていかなければならぬと感じているところであります。

どうぞ、次年度はその点を、自分自身のことのように捉えていただきまして、勧誘にお力を貸していただきたいと思います。

さて、冒頭でもお話ししましたとおり、各委員会の皆様には大変お世話になりました。とりわけ、五大奉仕の委員長様と委員の皆様、大変ありがとうございました。

継続事業である、青少年奉仕委員会の少年少女野球教室、ラグビー教室の開催におきましては、何百もの参加者を得ることができました。當麻委員長並びに委員の皆様、そして山下会員に、段取りや打合せ、その他の準備において奔走していただき、心から感謝いたします。

また、川村職業奉仕委員長には、継続事業のエッセンシャルワーカー表彰やフードラン、またそれに伴う募金活動、ローターアクトと一緒にフードドライブ事業にも参画していただきました。さらには高田警察署、香芝警察署との、当クラブとして初めてとなる、交通安全啓発ポスターコンテストの実施など、精力的に、かつ多彩な事業の展開をしていただきました。新たな足跡を残してくださったことに大変誇りを感じました。

また、今年度、初めての試みとして、社会奉仕委員会の吉岡委員長には、大和高田歴史ウォークと題して、高田のまちの歴史を参加者に深く知っていただき、この高田のまちに、より愛着と誇りを感じていただこうと、旧高田川の5つの橋の史跡をめぐるスタンプラリーを開催していただきました。とてもたくさんの方々のロータリアンの参加がございました。また、お米や参加賞を入れる立派な袋なども提供していただき、150名を超える小中学生とご家族の参加を得ましたこと、私としても大成功であったと感謝しているところであります。

それから、川中教正ローターアクト委員長にも、大幅な会員の増強、並びに親会とローターアクトをつ

なぐために、ひと汗もふた汗もかいて貢献していただいたことにお礼を申し上げたいと存じます。

そして、国際奉仕の高木委員長には、長年途絶えていた、姉妹クラブのリズモー西RCとの交流再開の糸口と掘り起こしに尽力をしていただきました。

また、親睦委員会の桑委員長には、家族例会におきまして、二部制でそつなく、しかも親睦の深まる温かい空間を提供してくださったことに、さすが桑さん、親睦委員長を受けていただいたのは大正解だったと感謝しています。

それから、出席委員会の志賀委員長は、お弁当ロス対策として、当然のこととはいえ、やはり言いにくいことをしっかりと発信していただき、目に見えて結果を出してくださいました。

また、当クラブの財源の下支えとなるニコニコ箱でも、皆様のご協力で目標額を十分にクリアしていただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。

その他、各委員会でも、それぞれの活動計画に従って、いろいろと工夫をし、この1年大いに盛り上げていただきました。1年を終えるに当たりまして、感謝とお礼の気持ちでいっぱいです。

歴代の会長が皆さん通ってこられた道ではあります、皆、それぞれ多少の違いはあるのでしょうか。振り返ってみると、会長エレクトに指名されたとき、私はその場から逃げ出してしまいたい気持ちが断然強かったことをはっきりと覚えております。しかし、川中光教指名委員長と、9年前に幹事としてお仕えをさせていただいた船木会長のお二人がお願いに来られ、私はそのとき、入会時推薦者の松村会員の言葉を思い出しました。ロータリーでは、返事は「yes」か「はい」しかないですよという言葉です。

また、船木会長の下で幹事をさせていただいたときに、船木会長がお呼びになった講師のことも思い出しました。その講師の方は、「頼まれ事は試され事」という心に刺さるお話をなさいました。頼まれるということは、その人からの信頼を受け、そしてある種、試されているんだと考えるようになりました。少し大げさな言い方かもしれません、試されているのなら、自分なりにベストの答えで返すことだと思いました。

それでも、1年に40回もある例会の会長挨拶をどうしようか、イベントごとの挨拶もあるし、会長としての責任ある言動と行動を発信できる能力はあるのかと考えました。そして、皆さんをまとめていけるだけの度量は自分にあるのか、始まる前からいろいろ葛藤が頭をよぎりました。

しかし、そんな私にとって幸いであったのは、最も重要な側近である丸野幹事を得られたことあります。陰になりひなたになり、一歩先を読んで支えてくださいました。私自身は割と気がつくほうだと思っておりましたが、丸野幹事の読みは私の比どころではなく、1年以上も前から、骨を粉にして身を碎いて、力の限り尽くす、いわゆる粉骨碎身の精神で事に当

たってくれました。心の底から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

今日から6月の末頃までもう少し間がございますけれども、この例会が終われば心が軽くなって、何かしら笑顔になれそうな気がいたします。次年度は山田会長、木原幹事で始まるわけでありますが、今年度の足らない部分を補っていただき、また一味違った年度運営になることだろうと思います。私は次年度、増強委員長を仰せつかることになりますが、精一杯協力していきたいと存じます。

最後になりますが、毎回の会長挨拶では、いろいろな情報を集め、また、自分なりの考えなどを交えて、好き勝手なことを申しました。中には、今日の挨拶はロータリアンとして、中身がちょっと違うだろうと思われた方もあるかと思います。しかしながら、2004年-05年度の第45代会長、田津原昭三さんがときどきおっしゃっていたことを今でもよく覚えております。それは、「ロータリーは言いたいこと言いの怒りなし。ロータリーの友情を持って皆で解決しよう」という言葉です。私はこの言葉が大好きです。これからも皆さんとともに、親睦と奉仕により、一步前への精神で前進したいと思います。

この1年、本当にお世話になりました。改めて皆さんとの友情に感謝し、心からお礼を申し上げ、次年度の山田会長にバトンを渡したいと思います。

結びに、自己満足ではございますが、この1年を通して、皆様とのより深い信頼と友情を感じられたことに、再度心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。



中井謙之副会長

副会長の任期を終えるのに当たりまして、一言、お礼と感謝を申し上げます。1年間という短い期間ではありましたが、多くの貴重な経験をすることができました。皆様の温かい愛情に支えられて、何とか1年間終わることができました。本当に感謝申し上げます。

具体的な内容につきましては、会長がお話しくださいましたので、私の考えを少しお話させていただこうと思います。

私が一番感じたことは、各委員会を通じて会員の皆様にすばらしい活動をしていただいたということです。

1つは、本当にいろんなご配慮をいただき、子どもたちの健康や成長に寄与する社会貢献として、野球教室やラグビー教室を開いていただきました。子どもたちと一緒にスポーツ体験をすることで、地元貢献の意味を改めて感じることができました。

また、交通安全ポスターの件についても、委員会の皆様の細心なる調整能力のおかげで、警察とも連携しすばらしい活動ができました。子どもたちの交通安全教育に十分貢献できたかと思っております。

こうした活動を通じ、子どもたちの喜ぶ顔を見ておりますと、ロータリーにとってこういった奉仕活動は非常に大切なものだなと思いました。

さらに、ウォークラリーにおきましては、地域の皆様と健康づくりや交流を深める機会を得ることができました。その裏側では、皆様のパワーと団結力に支えていただき、本当にありがとうございました。最後に、子どもたちみんなが「ありがとう。ありがとう」と言って帰っていました。あの姿を見まして、地域貢献と奉仕のすばらしさを感じることができました。

そして、私の不慣れな副会長の仕事を、池木会長や、緻密な丸野幹事に支えていただきまして、何とかふらふらしながらもやってくることができました。よいご指導いただいたことに感謝申し上げます。

こうしたクラブ活動を通じまして、私は奉仕精神とは何かというのを非常に学ばせていただきました。そして、クラブの皆様がみんな前向きに行動されている姿に、多くの刺激を受けました。今後は、一会员としてクラブの活動を支え、皆様にお返しをしたいと考えております。

挨拶の終わりに、一つだけ申し上げたい課題がございます。池木会長も心配されていましたが、やはり若いロータリアンが非常に少なくなってきたことを私も懸念しております。そしてまた、会員数も減少しております。

そこで一つだけお願ひしたいと思うのは、もう少しロータリーの門戸を広げていただけないかなということです。やはりハードルが高いというイメージがございます。今はいろんな職種がございます。新しい職種にも目を向けて、次年度以降、共々に会員増強に努力してまいりたいと考えております。

最後になりますが、これまでの支援とご厚情に感謝申し上げまして、私の退任の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。



丸野正徳幹事

幹事就任時にご挨拶させていただきましたとおり、今から2年半前の2022年11月8日(火)、池木会長より幹事のご用命を頂戴いたしました。ロータリー歴の非常に浅い、このうすれば池木会長がご満足いの運営ができるのか、今現在も解をきておりません。

幹事就任時には、池木会長が第65代大和高田R

C会長として名を残すことができるよう、天下人になっていたいというぐらいの志でスタートさせていただきました。かつて、徳川家康には、その片腕として石川数正のような人物がおりました。彼らは身を呈してでも、殿の身をお守りし、守り立てておりました。私が石川数正のような役目を本当に果たせたのかは、まだ疑問ではございます。

池木会長、中井謙之副会長、本当に1年間お疲れさまでした。ご指導いただきましたことに御礼申し上げます。

さて、本年度池木会長のスローガンは、「Next Stage・共に一步前へ」でございました。社会の変化に対応することこそ成長であるとし、地域社会のニーズに合った奉仕を行っていくことを目標に、各委員長様とともに全力で取り組んでまいりました。各委員長様、本当にありがとうございました。また、今回の任に当たり、慣れない幹事業務を心配していただき、私のことを常にご心配いただきましたロータリーの友人に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

また、苦境に立たされたとき、いつも励ましの言葉を頂戴し、判断に迷ったときには、これが大和高田RCのためになるかならないかが判断材料だということをご教示いただきましたロータリーの先輩方、ありがとうございました。

そして、いつも適切なアドバイスをいただきました、ロータリーの事務局の方々に感謝申し上げます。

最後になりますけれども、先日、池木会長よりご紹介がございました、「清貧の思想」の一節がございます。この一文は、この一年間の活動の中で、私の心に一番刺さりました。そこで、再度ご紹介させていただきます。

「怒りをやめて感謝で人を動かす。否定をやめて理解しようと歩み寄る。自慢話をやめて失敗談を伝える。干渉をやめて任せる勇気を持つ。無愛想をやめて笑顔で過ごす。偏見をやめて謙虚に学ぶ。もうのをやめて与える意識を持つ。孤独をやめて一期一会を大切にする」、まさに池木会長が、ご就任時の会長挨拶でおっしゃっていたことと同じでござります。今後の人生を過ごしていく上での糧とさせていただきます。

非常に至らぬ幹事でございましたが、一年間、皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。これをもって退任のご挨拶とさせていただきます。皆さん、一年間どうもありがとうございました。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
6月24日	87	55	49	6	2	32	26	0	95.06%
6月17日	87	55	49	6	2	32	24	1	95.00%
6月10日	87	55	49	6	3	32	22	2	96.20%